

大切な 甲賀市の自然 ⑤

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

ゲンゴロウ の仲間



▲ 水草の多い池



▲ クロゲンゴロウ



生き物の多い
土堀の水路

ゲンゴロウ類は、平たい流線型の体とオールのような長い後ろ足で、水中を素早く泳ぎ、他の水生生物を捕まえる肉食の甲虫です。

滋賀県には30種以上のゲンゴロウ類が生息しますが、体長が約4cmを超える最大の種「ゲンゴロウ」は、県内で非常に少なくなりました(滋賀県レッドデータブック2005年版)。「ナミゲンゴロウ」とも言われ、昔は普通でしたが、甲賀地域では既に絶滅したかも知れません。お隣の日野町で古くに採集された標本があるので、甲賀にもいたはずですよ。

「ゲンゴロウ」が減少したのは、すみ場所や餌が無くなったためと言われています。幼虫は水草の繁る浅い池にすみませんが、そのような池は現在あまり見当たりません。また、オタマジャクシや小魚など大量の水生生物を食べるため、農薬を無制限に使用した時代に、餌となる生き物と一緒に消えたようです。

しかし、甲賀市内には別の大型ゲンゴロウ類が生き残っています。体長が約2.5cmになる「クロゲンゴロウ」で、近年の調査で、甲賀市の全町から確認できました。山よりに生息するため、農薬や開発から逃れたようですが、やはり、水草が豊富な、生き物の多い池や水路に見られます。

大型のゲンゴロウ類が見られることは、水辺に多くの生き物がすむ、豊かな環境の存在を意味するのです。

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

8月の
休園日

7(月)、21(月)、28(月)

14日(月)は臨時開園

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は信楽町文化協会から
お寄せいただきました。

短歌 地中海信楽グループ

健康に良いと言われて目的地のひと駅前より降りてぞ歩く
悠然と雲たなびける京の空窓下に鴨の流れさやけし
無人駅飯道山おろし空つ風峠の花々おろる震う
古りし字にやさしさこもる焼杉の窯元散策路導きて立つ

高井仁波知
小山平八郎
山本 とよ
谷井かつ子

志がらき俳壇六月例会

・とび石の乾く間もなし梅雨最中
・梅雨の屋根東本願寺のあたり
・梅雨深し校舎にともる緑の灯
・あじさいの彩に看護の目を重ね
・大戸川濁りて荒れる走り梅雨
・新茶汲むゆるりゆるりと注ぎにけり
・梅雨晴間髪を束ねて洗車の娘
・潤いぬ和国一円梅雨に入る
・田植機の快音響く里文化
・我が里は変らぬままに菖蒲咲く
・梅雨明けの一報心を追い立てる

杉本 観月
小谷 栄子
内田 和子
乾 すす
杉本 春寿
金谷 きよ
片木 幸子
城 宏衛
高橋 克己
澤 しのぶ
山本 とよ

老人クラブ冠句研究 勅旨保良会文芸部

冠題「苦も菜も」

・夫婦の絆で 越えた道 高井 一子
・何処吹く風の 隠居部屋 高井 笹枝
・戦後境に 今平和 町野 りう子
・陰日向なき 人生路 金谷 きよ
・此の世に生きる 人の性 徳地 美芳
・自叙伝に記す この余生 高井 きよ子
・我が家で過ごす 幸せを 高井 和子
・胸にしまった 母の道 奥田 こと
・馬と鹿とで 来た私 澤 しのぶ
・時が解決 気は長く 大西 つる子
・人生七坂 越えて生き 高井 キサエ
・絆は固き 夫婦愛 古川 久江
・思い出だけが 生きている 宇田 イサ
・七転八起 頑張るぞ 宇田 キミ子
・人生双六 二人づれ 杉本 弘子
・共に過した 半世紀 高井 加代子

次号(9月1日号)は、甲南町文化協会の予定です。